

平成30年度 特別研究推進費実績報告書

2019年 4 月 25日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 文・准教授

(氏名) 山口 裕子

平成30年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	日本の地方社会における食のダイバーシティと地域振興をめぐる人類学的研究：フードスケープと多文化共生の課題に注目して					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>2020年東京オリンピック開催や政府の観光立国推進事業などを背景に、日本の食の国際化や多様な食物規制への対応が急務となっている。中でも人口増加が著しいムスリム（イスラーム教徒）は市場として注目され、日本でも商品やサービスに対して宗教上合法であることを証す「ハラール」認証を取得しようとする動向が隆盛している。さらにはベジタリアン、アレルギー体質など多様なニーズに最大公約数的に対応する食品の開発も見られる。だが、宗教的文化的規範の理解の不足や、対応にかかるコスト、様々な制約下での味や品質の保持など、持続的な取り組みへの多くの課題も見て取れた。これらの近年の食をめぐる景観（フードスケープ）の変化からは、あらゆる意味での「品質」を追求し、その担保のために科学技術を駆使して食物を監査するきわめて現代的な「監査文化」の様相が見て取れた。以上の成果の一部は論文①「食をめぐるハラールの制度化と実践」（『ハラールサイエンスの展望』シーエムシー出版2019年所収）②「序：特集ハラールの現代」（『文化人類学』83-4, 2019年所収）③The Potential and Challenge of Halal Foods in Japan(<i>Journal of Asian Rural Studies</i>, 2019, 3(1)所収、http://pasca.unhas.ac.id/ojs/index.php/jars)として刊行した。</p>					
事項	合計	使用内訳（単位：千円）				
		備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
交付決定額	466	0	160	0	25	301
支出金額	451	0	211	0	58	182
執行残額	15		-51	0	-33	119
共同研究者	所属・職名		氏名		役割分担等	
	なし					